（例）御社のルール、状況に合わせてご利用下さい。

**経費申請書**

○○部○○○○○殿

提出日：平成○○年○○月○○日

提出者：○○部　○○係　　○○二郎

現在大きな流れとなっているインバウンドビジネスの全貌を理解して、将来のインバウンドビジネスの方向性について考察致したいと思います。

つきましては、目標設定と学習成果の確認のため、下記の「インバウンド実務主任者認定試験」を受験したいと考えていますが、受験料を経費でご清算下さいますよう検討をお願いする次第です。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 件名 | インバウンド実務主任者認定試験の受験料の申請について | | | | |
| 試験内容 | 【一般財団法人全日本情報学習振興協会主催】　　（http://www.joho-gakushu.or.jp/）  インバウンド実務主任者認定試験は、インバウンドビジネスに携わる人材の育成を目的として開催されており、現在インバウンドビジネスに携わっている担当者、今後インバウンドビジネスを推し進めて行く人財に必要な知識が出題されています。  訪日外国人は、平成28年に2,403万人、平成29年に2,869万人と増加し続けており、今後も2020年に向けてさらに加速していくと思われます。しかしながら、インバウンド人材の不足、インバウンドに係る総合的知識の不足により、現状としては一部の企業や地域を除いて思うような対応や誘客活動が出来ていないのが実情です。  本試験では、こうしたインバウンドビジネスの現状と今後の動向、インバウンドの集客、訪日外国人の理解と対応、ニューツーリズムや観光街づくりについての知識が出題されます。この試験は平成29年7月9日に第1回をスタートして、5回（平成30年8月現在）の開催となりますが、約4,000人が受験し、約1,000人が合格しています。インバウンドビジネスの全貌を理解して、今後のビジネス活動に利用できる最適な検定試験です。 | | | | |
| 目的 | ①将来のビジネスとして需要な「インバウンド」の全貌と本質を理解する。  ②顧客・取引先からのインバウンドビジネスに関する信用の拡大を図りたい。  ③外部機関の資格を取得することでインバウンドビジネスに関して現場をリードし易い。 | | | | |
| 主催団体と試験の日時 | ① 実施団体　一般財団法人全日本情報学習振興協会  ② 受験を予定している会場 : 東京大学駒場校舎  ③ 受験を予定している日時 : 平成30年11月4日（日）  年間4回開催されていますが、上記の日時に受験を予定 | | | | |
| 合否結果  合格率等 | ① 合否発表は12月4日となりますので合否結果をご報告します。  ② 合格率は30から35％とのことです。不合格の際も経費での清算を希望します。  ③ 受験者数は年間約3,200人、合格者（認定者）数は年間1,200人程度。 | | | | |
| 受験料と  ご負担のお願い | ① 受験料10,000円（税別）受験料は2回目受験まで経費清算をお願いしたいと存じます。  ② 試験団体の公認テキストは自費で購入します。1冊2,300円（税別）  ③ 試験日当日の交通費などは自己負担で行います。 | | | | |
| 備考 |  | | | | |
|  |  |  |  |  |  |
| 決裁日 | 99年99月99日 | 99年99月99日 | 99年99月99日 | 99年99月99日 | 99年99月99日 |
| 決裁者 |  |  |  |  |  |